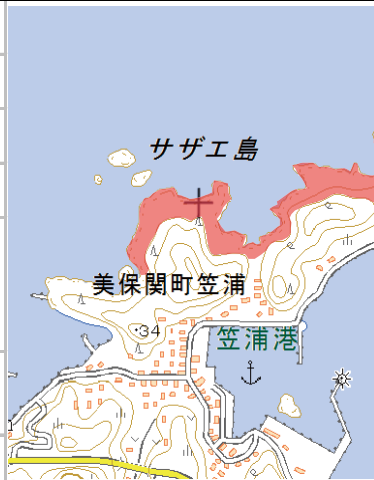


地質サイトカード

カードNo.		A-③-6	通しNo.	29	作成日	2024/7/19		
サイト名		かさうら 笠浦半島の海底火山堆積物						
基本情報	エリア	島根半島 探検サイト						
	区分	☒ 地質・地形		☒ 生態				☐ 文化
	利用価値	☒ 科学		☒ 教育				☐ 観光・ツアー
	所在地	松江市美保関町笠浦漁港北方の海岸						
	アクセス	松江だんだん道路川津ICから約17km、約25分。笠浦港の北側の民家の間を抜けて行ける。						
	周辺施設	☐ トイレ ☐ 売店 ☐ 飲食店 ☒ 駐車場(港周辺に数台程度) ☐ ウォーキングコース ☐ サイクリングコース ☐ 観光施設()						
	看板整備							
	留意点					位置情報	e-1	
保護・保全	法規制・関連団体等	大山隠岐国立公園						
	保全メモ							
サイトの解説	みどころ	海底火山噴出の火砕物と山体崩壊による堆積物						
	地質・地形	約1400万年前頃の島根半島は火山活動の激しい海底であり、本地域では海底火山に関係した火砕岩類が広く露出している。松江市美保関町笠浦半島でもっとも典型的に見られる岩相は正級化(一部逆級化)した安山岩質凝灰角礫岩であり、産状から水中土石流堆積物と考えられる。笠浦半島北側には径数メートルにも達する不定形の安山岩ブロックを大量に含む安山岩質火山角礫岩が見られ、また一部赤色酸化した牛糞型火山弾や火山餅を含んでいる。巨大な安山岩ブロックは山体崩壊によりもたらされたと考えられる。また、一般に火山弾は火口から数キロメートル以内に分布するものであることから、この地点のごく近傍に噴出源の火口が存在していたものと考えられている。 笠浦半島の岩石海岸の一部は離水波食棚を構成し、しばしばそこに離水したポットホールを伴う。これらの離水地形は土地の隆起を示唆する。						
	歴史・文化 生物・生態 等	海岸付近には特定植物群落である「笠浦ハマビワ群落」がある。						
写真・図等								
参考文献		島根地質百選						